

2024年度 第1回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議

日 程：2024年5月24日（金） 14:00 ～ 14:40

場 所：複合型サービスきょうりつ 家族談話室

出席者：綾部市地域包括支援センター：加柴 孝泰 様

サロン広楽：梶村 隆三 様

複合型（管理者・ケアマネ）：白波瀬 実・村上 陽子

欠席者：中部地域包括支援センター：小野 明日香 様

複合型（訪問看護）：清水 麻里

1、報告事項

- ・4月度実績：延べ登録者数 21名
延べ短期利用 0名
- ・平均介護度：3.38
- ・利用地域：幸通、黒谷、広小路、篠田、館、梅迫、大島、位田、味方、栗、
駅前、上野、青野、本町、物部、岡、寺町、多田、桜が丘
()…新規
- ・サービス別 延べ提供数
通い：364回 泊り：121回
訪問（介護）：201回 訪問（看護）：19回
全サービス提供回数：705回（一人あたり平均サービス提供回数：6.8回）
（前回2月の実績）延べ登録者数 24名 短期利用0名 平均介護度 3.38
通い：314回 泊り：107回 訪問（介護）：235回 訪問（看護）：24回
全サービス提供回数 680回（一人あたり週平均サービス提供回数 7.1回）
- ・利用状況…新規利用者 1名（退院後利用）
終了・中断利用者 3名（長期入院2名、自宅での看取り1名）
- ・サービスごとの特徴
通いサービス…1日平均 12.1回（前回10.8回）
泊りサービス…1日平均 4.0回（前回3.7回）
訪問（介護）…1日平均 6.7回（前回8.1回）
訪問（看護）…1日平均 0.6回（前回0.8回）
- ・利用者の状況…新規利用者の状況
4月は、定期的に介護軽減目的（レスパイト）での入院が3名あり、大幅に登録者数が減少した。退院後に複合型サービスを再利用されることを見越して、新たな利用者は受け入れずに枠を空け受け入れている。
- ・ターミナルケア…退院後、医療処置が多く必要になり利用開始。家族介護での看取りを支援し、4月はじめに自宅で亡くなられた。
- ・サービス内容説明…初めて会議に参加される方へ、複合型は要介護認定の介護度により基本利用料が変わることや、サービスの時間や回数で変動しない月額定額制であることを説明。月途中での利用開始や終了時には日割り計算もあると説明。

施設での看取り後の流れについて説明。エンゼルケアや死亡診断書の作成などについて事例を踏まえ説明した。自宅での看取りニーズや家族の介護力の低下がみられる。在宅のかかりつけ医お願いしておく必要がある。

2、介護サービスの状況、地域の状況、課題・要望・助言 等

高齢者夫婦での複合型利用開始。二人暮らし、夫は要介護 1、妻は要介護 4（重度の認知症）、通いサービスでの入浴や訪問介護で体調確認やオムツ交換の支援を行っている。できるだけ長く自宅で生活を続けたいとの意向あり。妻は目が離せないため、どこに行くにも一緒に行動する必要あり。柔軟なサービス提供で在宅介護を支援している。

今後、地域で認知症を患う方が増える見込みあり。認知症の早期発見やケアを受けるために地域のサロンで取り組みを進めておられる。認知症外来への受診までに時間を要することが多い。地域で専門職が関わる受け皿づくりが大切。新たな治療薬の開発が進んでいるが保険適応など課題あり。認知機能の低下を防ぐために人との交流が大切。高齢化で地域の老人会の活動が縮小している状況あり。

施設入所対象が要介護 3 以上となっている。高齢化と人口減少で介護資源が不足することとなる。市の介護保険計画で要介護人口の推移を見て介護やフレイル予防対策や介護保険料などを決めている。要介護認定が出るまでの期間は 1 ヶ月程度以内と、近隣市の認定審査と比較して短い状況。

3、その他

・きょうりつカフェひだまり（認知症カフェ）…5/25（土）開催。毎回、当事者と家族合わせて 15～20 名ほど参加あり。介護の困りごとなどの相談も受け付けている。お茶代 100 円で参加できる。季節に応じ毎回楽しめる企画を準備している。

○ 次回、運営推進会議日程 2024年7月26日（金）14時～
※第4金曜日

以上